

広島市歯科医師会だより



4月号

No.168 (R3.4.19)

Hiroshima City Dental Association

入学式

目次

行事報告

広島市歯科医療福祉対策協議会 休日歯科救急医療研修会..... 1 ページ

支部だより

中区支部..... 1 ページ

東区支部..... 2 ページ

南区支部..... 3 ページ

西区支部..... 4 ページ

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)..... 7 ページ

令和3年度妊婦歯科健康診査料及び節目年齢歯科健康診査料のお知らせ(地域歯科保健部)..... 8 ページ

今月の知っておきたいこと(広報部)..... 8 ページ

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)..... 13 ページ

FM ちゅーピー(広報部)..... 14 ページ

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み..... 15 ページ

会長コラム『柔しく剛く』ー令和3年度事業計画についてー..... 16 ページ

3月定例理事会報告..... 17 ページ

LINE 公式アカウント 友達募集..... 23 ページ



行事報告

広島市歯科医療福祉対策協議会 休日歯科救急医療研修会

日時：3月18日(木)午後7時30分

場所：県歯会館6階「601・602会議室」

広島市歯科医療福祉対策協議会(広島市歯科医師会、安佐歯科医師会、佐伯歯科医師会、安芸歯科医師会)が主体となり、平成2年4月より実施されている休日歯科救急医療事業の研修会が開催された。例年、次年度の出務予定者に対し行われる研修会であるが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ず、今年も対象者を昨年と今年の新入会員のみと縮小して開催することになった。

初めに熊谷宏広島市歯科医療福祉対策協議会会長より挨拶があり、本事業は救急医療ではあるが、自院での治療同様の心構えであたるようお願いがあった。続いて、休日歯科救急医療の手引に沿って、若林大輔理事より「診療実施にあたっての注意事項」について、森本慎樹理事より「保険点数算定上の注意事項」についてそれぞれ説明があった。その後、上平克利(株)アイデンス広島支店長より「休日歯科救急診療レセプトコンピューターの入力方法」について説明があり、最後に藤井宗仁理事の閉会

の挨拶で、休日歯科救急に対する心構えについて述べられ、研修会が終了した。

昨年度の広島市休日歯科救急医療事業は、新型コロナウイルス感染症の安全対策等、取り組むべき課題が多かったが、引き続き本事業を通じて地域住民の健康保持、歯科保健衛生の充実に寄与してまいりたいと考えている。



研修会の様子

支部だより

中区支部

令和2年度 吉島圏域多職種連携会議

日時：3月19日(金)午後7時

場所：オンライン開催(Zoom)

標記会が開催された。

会議の冒頭、吉島圏域の田丸卓弥リーダー医より、挨拶と趣旨説明が行われ、講師に高橋浩一折口医院医師を迎え、「全集中！ 新型コロナウイルス感染症対策 多職種連携【吉島モデル】(新型コロナがあろうとなかろうと住み慣れた地域で最期まで暮らせる地域をめざしましょう!）」という講演が行われた。

昨年末の新型コロナウイルス感染症の第3波到来の最中、広島県内でも広島市は感染者の増加が著しく、緊急事態宣言発出を検討する手前までの時期があり、その頃から、

吉島圏域では医科の開業医による勉強会が頻繁に行われていた。

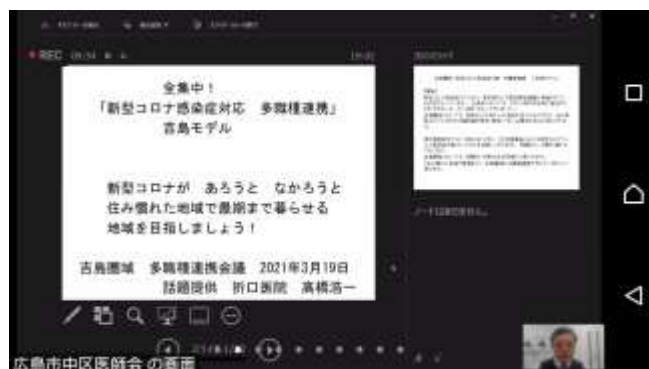
新型コロナウイルス対応の課題として、1.ワクチン接種 2.新型コロナウイルス検査 3.陽性判明後の在宅医療・看取りの3点が示された。

現段階で吉島における在宅療養の状況は、新型コロナウイルス感染の影響で、病院の入院患者またその家族が、在宅での療養を希望している件数が増加している。また、在宅での新型コロナウイルス検査(PCR検査等)の是非の問題、課題などが示され、陽性結果が出た場合、医療、介

護従事者はどのように対応していくべきかが示された。会議の途中、今回の「吉島モデル」の作成に携わった橋本義政はしもと内科医師より吉島における新型コロナウイルス検査の状況等の報告が行われた。

質疑応答では、歯科関係において波田佳範支部長より「コロナ陽性患者さんに対して、我々歯科はどう関与するべきか教えていただきたい」という質問があり、高橋医師より「口腔管理による効果が患者さんの状態に好影響を与えるのであれば、感染対策をしっかりと行った上で、加わってほしい」との回答があった。

なおこの会議には中区支部より、波田支部長をはじめ、香川次郎副支部長、石田一輝氏、加藤千季氏、小松大造氏、辰本将哉氏、橋本隆氏、森田薫氏の8名が出席した。



会議の様子

東区支部

介護保険研修会

日時：3月24日(水)午後7時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

東区介護保険研修会が標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会であり、対象者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャーなどで参加者は会場での参加が29名およびリモートでの参加が51名の計80名であった。

永田秀之広島市東区地域保健対策協議会(東区地対協)常任理事の司会進行のもと、金谷雄生東区地対協会長(東区医師会会長)および久岡桂子東区地対協常任理事(東区厚生部長)の挨拶で研修会が開始された。益田浩東区地対協常任理事(広島市医師会地域包括ケア委員)を座長として、小坂計太広島市健康福祉局高齢福祉課長補佐より「第8期広島市高齢者施策推進プラン」の講演が行われた。これまでの取り組みの推進状況から自助・共助・公助を踏まえた5つの重点施策『健康づくりと介護予防の促進、見守り支え合う地域づくりの推進、質の高い介護サービスを安定して提供できる体制づくりの推進、在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進』が示された。さらに近年の災害発生状況や新型コロナウイルス感染症を鑑み、新たにリスクマネジメントが追加された。

続いて落久保裕之広島市域居宅介護支援事業者協議会会長(広島県医師会常任理事)より「介護保険制度の改正について」の講演が行われた。令和3年度の介護報酬改定の

概要では、感染症や災害への対応力強化や認知症対応力向上への取組の推進、介護人材の確保や現場の核心、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進などが示された。介護サービス利用者の状態像やサービス内容の可視化を目的として、通所・訪問リハビリテーションの評価データ収集事業(VISIT: monitoring & evaluation for rehabilitation services for long-term care)やそれを補完する高齢者の状態・ケア内容の情報(CHASE: care, health status & events)が紹介された。今回の改定にまつわる質疑応答の後、最後に住吉秀隆広島市東区地対協副会長(東区医師会副会長)の挨拶で閉会した。なお東区支部より野村登志夫支部長が、リモートでは木村太言氏、野坂覚氏が参加した。



研修会の様子

段原地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：2月26日(金)午後1時30分

場所：広島市総合福祉センター「ホール」

標記の教室が開催され、中川誠地域歯科保健部副委員長が「身体の健康はお口から」と題して京橋町、稲荷町、的場町の地域住民25名に対して講演を行った。

講演では、まず歯科医院における新型コロナウイルスの感染症対策について簡単に解説を行い、広島県の歯科医院ではクラスターの発生も歯科治療由来の感染も報告されており、安心して歯科を受診していただくよう説明した。自己判断による受診控えは口腔衛生不良や口腔機能低下を招き、誤嚥性肺炎や低栄養などのリスクが高まる可能性について示唆した。

次に舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説し、ペコぱんだを用いての舌圧トレーニングを出席者全員で行った。またオーラルディアドコキネシスについても解説を行ったが、飛沫感染予防の観点から発声は行わず、各年代における平均発音回数をタイマー音で体感していただいた。出席者からは特に「カ」の発音が難しいという感想を得た。

最後にフレイルについての解説を行い、フレイルの早いタイミングでオーラルフレイルが起こることが多いため、

かかりつけの歯科をもち定期的にチェックしてもらうことが健康寿命の延伸へとつながることを理解していただいた。

広島市歯科医師会地域歯科保健部は介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することによって、通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みを行っている。今後も高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。



講師を務めた中川誠地域歯科保健部副委員長

南区地域医療医歯薬連携研修会

日時：3月2日(火)午後7時

場所：オンライン開催 (Zoom)

広島市南区地域保健対策協議会が主催する標記会が新型コロナウイルス感染症への各科の対応をテーマとして開催された。

上綱雅一広島市南区医師会理事の司会の下、半田徹南区地域保健対策協議会会長の挨拶の後に、桑原正雄広島県感染症・疾病管理センター長が「COVID-19 と広島県や医療機関の対応」と題して講演を行い、同感染症の総論的解説に加えて、広島県における検査・医療体制、トリアージ、病床確保状況等について現状報告があった。また、堂面政俊広島市医師会常任理事から広島市におけるワクチン接種について情報提供があり、その中で医療従事者への接種、ワクチン供給の優先順位などについて説明があった。続い

て、平井由美本会地域歯科保健部委員の座長のもとで、中川誠本会地域歯科保健部副委員長が「歯科医院における新型コロナウイルス感染症対策」と題して講演した。中川副委員長は、口腔に出現する同感染症の症状、歯科医院における感染対策等について言及し、本会作成の動画「不安な？歯医者」を紹介した。次に、三浦常代二葉の里薬局薬剤師が、「会営薬局における新型コロナウイルス感染症への対応について」と題して講演し、薬局におけるオンライン診療の取り組み、宿泊療養施設での取り組み等について報告した。

講演会に引き続き開催されたオンライン懇親会では、有馬隆地域歯科保健部理事の挨拶の後、5～6名の小グルー

プに別れてビール等を片手に談笑や情報交換の一時を持った。最後に、吉田亜賀子広島市薬剤師会副会長の挨拶で、閉会した。

南区支部は今後も南区における在宅医療及び多職種連携の発展を目指し、南区地域医療対策協議会の事業に協力することにしている。



講演した中川誠地域歯科保健部副委員長と座長を務めた平井由美地域歯科保健部委員

宇品・似島地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：3月25日(木)午後1時30分

場所：宇品集会所

標記の教室において、有馬隆地域歯科保健部理事が「with コロナでも人生100年時代を楽しく過ごすためのお口の健康について」と題する講演を行った。

講演では、新型コロナウイルス感染症対策としての「新しい生活様式」の影響がシニアの健康に及んでいることを踏まえ、オーラルフレイルと全身のフレイルの関連やオーラルフレイルの予防を通じた健康寿命の延伸、かかりつけの歯科医院での定期健診受診の重要性等について説明した。さらに、「ペコぱんだ」や「あいうべ体操」、「かみかみ百歳体操」等を紹介し、嚥下機能を維持・向上して誤嚥性肺炎や食物による窒息を予防することの重要性を説明した。最後に泉本美紗宇品・似島地域包括支援センター職員の挨拶で閉会した。講演後、参加者からは「自分の歯を保つには、日頃の口腔ケアで虫歯だけでなく歯周病を予防することが大切だと知ることができました」、「誤嚥が怖い

ので、トレーニングをしようと思います」等の感想が寄せられ、口腔の健康への関心の高まりが得られたことが伺われた。

地域歯科保健部は今後も継続して地域に根ざした介護予防事業を推進し、口腔機能維持の重要性を啓発することになっている。



嚥下おでこ体操をする有馬隆理事と参加者

西区支部

第13回 古田圏域「医療と介護の連携会議」

日時：2月25日(木)午後6時30分

場所：オンライン開催 (Zoom)

標記の会が広島市古田地域包括支援センターによりZoomミーティングの形で開催された。森政道同センター員による司会進行の下、實平真介センター長が開会の挨拶をされ、総合事業が丸4年経ち自立というキーワードについて、卒業シーズンの今、介護卒業にスポットを当てて今回のテーマとした旨を述べられた。続いて『自立支援・重度化防止のケアマネジメントについて』の演題で油野初音

同センター保健師・主任ケアマネジャーにより以下の3点について説明があった。①我が町(広島市西区・古田包括圏域)の人口実態・介護認定率について述べられ、圏域の中でも山田学区は高齢化が特に進んでいるがアンケートで幸福感も高い事が報告された。さらに2025年問題、2040年問題について説明があった。②総合事業が始まって「介護保険卒業を見据えたケアマネジメント」が進み、

卒業加算が算定されはじめ西区は特に多く、中でも古田圏域が最も多かったと報告された。その成果と課題についても述べられた。③令和3年度から始まる第8期広島市高齢者施策推進プランの基本理念及び目標について解説された。次に司会の森氏より『自立支援』の観点から『卒業』を考えると、「古田包括の自立支援アンケート調査結果報告」の演題で解説された。サービス終了者の数では、後期高齢者>前期高齢者であった。要介護認定で軽度の方のほうがサービスを終了しやすい傾向。平地に居住の方が、坂が多い立地に住んでいる方より、サービス終了者が出やすい。つなぎ先は、いきいき100歳体操の拠点が約半数を占めた。

協力が“得られなかった”について精査は今後も行っていく必要あり。ケアマネジャーと事業所で卒業に向けて協力関係が構築できていると利用者も卒業へ向かいやすか

第9回 庚午圏域 医療と介護の連携会議

日時：3月4日(木)午後7時

場所：オンライン開催 (Zoom)

標記の会が広島市庚午地域包括支援センターによりZoomミーティングの形で開催された。松田千鶴子センター長による司会進行の元、藤井辰義荒木脳神経外科病院医師による開会挨拶で始まり、松田センター長から前回連携会議の振り返りが述べられ、コロナ禍で浮き上がってきた問題について報告され、その問題の中から服薬管理について今回取り上げた旨を説明された。続いて多職種からの情報提供～認知症の方の服薬管理について～の演題で2名の方から講義があった。最初に医師の立場からとして、山崎ゆみ加川整形外科病院医師から「コロナ禍での糖尿病管理」の演題で説明があった。糖尿病の基礎知識について述べられとても簡潔にわかりやすくまとめられた。次に薬剤師の立場からとして、小谷嘉久こばと薬局高須店薬剤師から「居宅薬剤管理指導の実例」の演題で説明された。実例を紹介され、高齢独居男性で睡眠障害があり睡眠導入剤を多量服用し、毎晩の寝酒に糖尿病もかかえ記憶がおぼつかなくなり、大量の飲み忘れがある事例であった。居宅サービス利用の経緯から服薬の改善対策の取り組みを説明され、その改善と成果について報告された。

引き続き司会進行が同センター黒田昂佑氏に変わりグ

った。などの分析結果報告をされた。引き続き、1例目「進行性の疾患の方が介護保険を卒業した事例」2例目「既存の介護保険サービスを利用して卒業した事例」の事例紹介がなされ、この2例についてZoom上でグループの意見交換があり発表を行った。サービス卒業の取り組みが上手くなされている事、その仕組みや卒業加点についての質問、本人や家族の同意、後のフォローのあり方等、色々意見交換がなされた。古田圏域でデータ分析が良くされている事への賞賛が多く上がった。続いて油野氏より総括が述べられ、最後に閉会挨拶が草野富美子広島市西区地域支えあい課課長よりあり、利用者の状態を把握し連携の後卒業へと繋げる重要性を述べられて閉会となった。オンラインでありながらスムーズな運営の会議であった。

なお、西区支部からは、角田達彦支部長、濱岡代枝氏、森川英彦氏の3名が参加した。

ループワークが行われた。村上美紀子訪問看護St草津かもめ看護師から、物忘れが進行し内服管理が困難となっている事例について情報提供された。要介護1の高齢女性で糖尿病があるが薬の飲み忘れが多く、同居の家族は仕事が忙しく面倒見切れない状態で本人も家族に迷惑をかけたくない思いが強く服薬が上手くいっていない状態であった。Zoom上でグループの意見交換がなされ発表を行った。色々な支援の工夫が述べられ、薬カレンダー利用の工夫、薬の簡便化や本人の意思を尊重する意見などあった。家族への伝え方として関係ノートの活用が今回も有効でありそうであった。続いて山崎医師より感想として、他職種からの支えで診療が成り立っており様々な見方の情報が欲しい旨が述べられた。

最後に閉会挨拶が草野富美子広島市西区地域支えあい課課長よりあり、広島市では今年は糖尿病の管理に力を入れていき、服薬管理も重要である事を述べられ閉会となった。オンラインにも慣れスムーズな運営会議であった。なお、西区支部からは、角田達彦支部長、濱岡代枝氏、森川英彦氏の3名が参加した。

己斐・己斐上地域包括支援センター主催 ホップステップ！健康寿命アップ講座

日時：3月12日(金)午後1時30分

場所：己斐公民館

標記の講座が西区己斐公民館で開催された。本講座は口腔編(歯科医師)、運動編(理学療法士)、栄養編(管理栄養士)の三部で構成されており、第1回となる今回は、松村英朗地域歯科保健部委員が「お口の健康と身体の健康について」と題して、地域住民18名に対して講演を行った。新型コロナウイルス対策として参加者全員のマスク着用や、マスクを外した状態での実習の中止等、十分な感染対策のもと開催された。

講演では現在の8020運動の達成状況から、今後の健康寿命の延伸を目指すための口腔ケア(セルフケア・プロフェッショナルケアおよび機能的ケア)の重要性について説明した。また、歯の喪失原因1位が歯周病であること、歯周病を放置すると全身疾患へ影響を及ぼすことを示し、歯周病の早期発見・早期治療の啓発を行った。さらに口腔環境の悪化が誤嚥性肺炎やオーラルフレイルを引き起こすことを示し、それらを予防するために、舌や口腔周囲筋を日常的に鍛えることが重要であることを説明した。摂食・嚥下機能の改善を目的としたお口の体操やペコぱんだに

についての紹介を行ったが、ペコぱんだについては使用方法を説明するにとどめ、反復唾液嚥下テスト(RSST)のみ体験をしてもらった。最後に短期集中通所口腔ケアサービスを紹介して終了した。

講演後には参加者からの活発な質問があり、関心の高さがうかがえた。広島市歯科医師会地域歯科保健部は今後も地域住民との関わりをもち、地域に根差した歯科保健活動を行っていく所存である。



講演をする松村英朗地域歯科保健部委員

第19回 佐伯区・西区合同地域保健対策協議会シンポジウム

「広島県におけるCOVID-19対策の現状～医療福祉クラスター対応について～」

日時：3月17日(水)午後7時

場所：広島県医師会館1階「ホール」

標記の会が開催され、会場参加(約40名)、Web参加(約80名)で約120名が参加した。

石田哲広島市西区地域保健対策協議会理事の司会で進行し、平林一郎広島市西区地域保健対策協議会会長と福岡美鈴広島市西区長の開会挨拶の後、佐伯区海老園の介護施設「ホスピスホーム みなみ」について古井潤広島市佐伯区医師会理事からの報告があった。

続いて、久保達彦広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学教授による「広島県におけるCOVID-19対策の現状～医療福祉クラスター対応について～」の講演が落久保裕之広島市西区地域保健対策協議会副会長を座長に始まった。

広島県において新型コロナウイルス感染症の第1波、

障害児福祉施設クラスター発生時の様々な対応の問題点を教訓に、第3波での、医療機関9件、福祉介護施設16件のクラスター発生時、トリアージセンター内に医療福祉クラスター対応班の設置など広島県の現状の報告があった。施設、保健所、専門家の3者体制でクラスターを抑える、攻めの対応が重要で、特に看護師や介護士など職員感染予防が急所となる。マスク、フェイスシールドの脱着方法や、ゾーニングの重要性、J-speedなどチェックボックス方式の調査表の有効性などのお話があった。

「みんなでやるしかない オール広島(検査・保健所・医療機関・専門家・事業者・行政・そして市民)」のまとめで終わった。

最後に、永嶋潤広島市佐伯区地域保健対策協議会会長の

閉会挨拶で閉会した。

なお、西区支部からは、会場参加：角田達彦支部長、竹田芳弘副支部長 Web 参加：田中信吾氏、森川英彦氏の4名が参加した。



会場の様子

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起っています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：転院後のトラブルについて

新しい歯科に通院し始めたが、説明に納得しないうちに治療に入り、高額な治療の話になったので治療を中断した。他の歯科の相談は出来ないか。

（センターの対応）

センターでは、住所を調べる事は出来るが、医院の治療内容については把握していない。転院前の歯科で相談し、説明をよく聞いて、納得してから治療する事を勧めた。その他、治療内容については広島県歯科医師会に相談する事を勧めた。

（コメント）

治療を行う際には、患者さんによく説明をし、同意を得るようにしましょう。

最近では金属が高騰しているため、保険の補綴物でも、患者からクレームがつく場合があります。金額面についても、よく説明をするようにしましょう。

事例2：医療機関が対応してくれない

中学生の頃から治療している前歯を、数年前、A大病院で切開、排膿処置を受けた。先日、腫れたので同病院を受診したところ、審美歯科を勧められ、自分に合う歯科を探そう紹介状を書かれた。その後痛みが出て、A大病院に相談した所、紹介済みなので投薬出来ないと言われた。仕方なく歯科を探し、受診したが「炎症がひどく抜歯できず、A大病院に問い合わせをした上、B大病院に紹介する可能性もある」と言われた。A大病院がちゃんと返事をするかと思うと不安になる。

（センターの対応）

一般に、炎症がある場合、炎症を治療してから抜歯する事を伝えた。A大病院の患者相談窓口はよく知っているが、歯科医師が対応してくれないので受診しないと言われた。次の受診日に医師から説明を聞き、治療法を決める事、紹介先は自分で探さず、紹介してもらう事を伝えた。

（コメント）

患者さんは、充分対応してくれないA病院側に不満や不安があると思われます。困っている患者さんに寄り添って対応していれば、トラブルに発展せずに済んだかも知れません。

事例3：銀歯作成のために何度も型を取られた

詰めたレジン充填が何度も欠けたため、他院であるA歯科を受診した。他の歯が低いからという事で複数個所の詰め物を作り直すことを勧められ、型取りをしたが、次の受診で完成しておらず、また型の取り直しをされたため不審に思い他院を受診すると、「A歯科で詰めたレジンを歯の隙間がなくなりフロスが通らない」、「銀歯がはみ出ている」などと言われた。A歯科は治療も雑で、必要ない事を勝手にして、ぼったくりだと思う。

（センターの対応）

治療内容について、正確な所はA歯科で理由を聞いてみる事、せっかく2回も型を取ったので、口の形がかわらないうちに、早めにできた詰め物を付けに行く事を勧めた。

めた。また、広島県歯科医師会で相談できることも伝え
た。

(コメント)

治療内容について、修正が必要な場合などは特に患者
が不信感を抱かないように、十分な説明を心がけましょ
う。また、他院で行った治療に関しては十分に言葉を選
んで行う事が重要です。

地域歯科保健部

令和3年度妊婦歯科健康診査料及び節目年齢歯科健康診査料のお知らせ

令和3年度の妊婦歯科健康診査料・節目年齢歯科健康診査料について下記の通り変更がございますのでお知らせい
たします。広島市節目年齢歯科健診事業につきましては**満45歳**が追加となります。

	妊婦歯科健康診査料	節目年齢歯科健診（歯周疾患健診）	
		一般健診単価	受診者負担金
広島市	5,155円	4,431円→ 4,820円	500円
府中町	5,071円	3,130円	1,300円
廿日市市	5,071円	3,400円	1,000円
海田町	4,510円	4,431円→ 4,820円	500円
坂町	4,970円→ 5,053円	3,731円→ 4,120円	1,200円

また、健診票の提出につきましては、以下のお願いがございます。

- 1.健診票の記載不備が散見されます。健診票提出の際には、今一度ご確認ください。
- 2.健診票は月毎に、速やかに提出してください。数か月分を一括で提出されないようお願いいたします。

事務局からの問い合わせ、確認作業にかなりの時間が割かれておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申
し上げます。

広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該
当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼第114回歯科医師国家試験合格者は2,123人、合格率64.6%

HYORON (2021年3月19日)

<https://www.hyoron.co.jp/news/n39931.html>



令和3年1月30・31両日に行われた第114回歯科医師国家試験は、受験者3,284人、合格者2,123人で、合格率は64.6%だった。このうち新卒者は、受験者2,103人、合格者1,687人で、合格率は80.2%。既卒者は、受験者1,181人、合格者436人で、合格率は36.9%だった。また、男女別では、男性の受験者は1,928人、合格者1,178人で合格率は61.1%、女性の受験者は1,356人、合格者945人で合格率は69.7%だった。

第114回 歯科医師国家試験 学校別合格者状況

学 校 名	総 数				新 卒				既 卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
北海道大学歯学部	60	56	49	87.5	52	51	47	92.2	8	5	2	40
東北大学歯学部	66	62	46	74.2	52	52	43	82.7	14	10	3	30
東京医科歯科大学歯学部	63	62	51	82.3	60	59	49	83.1	3	3	2	66.7
新潟大学歯学部	47	45	36	80	37	37	31	83.8	10	8	5	62.5
大阪大学歯学部	66	66	52	78.8	57	57	44	77.2	9	9	8	88.9
岡山大学歯学部	63	63	50	79.4	54	54	47	87	9	9	3	33.3
広島大学歯学部	63	63	48	76.2	50	50	41	82	13	13	7	53.8
徳島大学歯学部	54	52	35	67.3	37	37	27	73	17	15	8	53.3
九州大学歯学部	74	73	48	65.8	56	56	44	78.6	18	17	4	23.5
長崎大学歯学部	72	70	47	67.1	47	46	38	82.6	25	24	9	37.5
鹿児島大学歯学部	71	71	52	73.2	54	54	48	88.9	17	17	4	23.5
国立 計	699	683	514	75.3	556	553	459	83	143	130	55	42.3
九州歯科大学	112	111	87	78.4	89	89	77	86.5	23	22	10	45.5
公立 計	112	111	87	78.4	89	89	77	86.5	23	22	10	45.5
北海道医療大学歯学部 (東日本学国大学歯学部を含む)	105	87	53	60.9	71	55	45	81.8	34	32	8	25
岩手医科大学歯学部	98	71	45	63.4	79	53	43	81.1	19	18	2	11.1
奥羽大学歯学部 (東北歯科大学を含む)	152	121	49	40.5	81	55	37	67.3	71	66	12	18.2
明海大学歯学部 (城西歯科大学を含む)	227	167	92	55.1	137	80	69	86.3	90	87	23	26.4
日本大学松戸歯学部	229	165	99	60	147	88	72	81.8	82	77	27	35.1
東京歯科大学	161	137	129	94.2	156	132	126	95.5	5	5	3	60
日本歯科大学生命歯学部	216	178	132	74.2	163	126	107	84.9	53	52	25	48.1
日本大学歯学部	160	156	78	50	95	91	49	53.8	65	65	29	44.6
昭和大学歯学部	134	118	97	82.2	108	92	81	88	26	26	16	61.5
鶴見大学歯学部	230	182	82	45.1	127	83	43	51.8	103	99	39	39.4
神奈川歯科大学	145	100	71	71	116	72	58	80.6	29	28	13	46.4
日本歯科大学新潟生命歯学部 (日本歯科大学新潟歯学部を含む)	100	91	77	84.6	79	70	63	90	21	21	14	66.7
松本歯科大学	152	99	71	71.7	116	65	62	95.4	36	34	9	26.5
愛知学院大学歯学部	198	194	108	55.7	122	121	76	62.8	76	73	32	43.8
朝日大学歯学部 (岐阜歯科大学を含む)	261	203	122	60.1	150	100	88	88	111	103	34	33
大阪歯科大学	229	203	136	67	110	87	80	92	119	116	56	48.3
福岡歯科大学	229	205	74	36.1	105	83	47	56.6	124	122	27	22.1
私立 計	3,026	2,477	1,515	61.2	1,962	1,453	1,146	78.9	1,064	1,024	369	36
認定	12	10	4	40	5	5	2	40	7	5	2	40
予備試験	3	3	3	100	3	3	3	100	0	0	0	0
その他 計	15	13	7	53.8	8	8	5	62.5	7	5	2	40
	3,852	3,284	2,123	64.6	2,615	2,103	1,687	80.2	1,237	1,181	436	36.9

▼新型コロナウイルス感染症“母子感染”の可能性 国内初確認か

NHK NEWS WEB 2021年3月22日 10時58分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210322/k10012928461000.html>



新型コロナウイルスに感染した妊婦から生まれた赤ちゃんで、母子感染の可能性のある事例が1件あったことが日本小児科学会などのグループの調査で分かりました。赤ちゃんの健康状態に問題はなかったということです。

赤ちゃん 生まれた直後のPCR検査で陽性

この調査は、日本大学医学部小児科の森岡一朗主任教授らを中心とした日本小児科学会のグループが全国の小児科のある医療機関を対象にアンケートを行い、1124の施設から回答を得ました。それによりますと、去年8月末までに全国31の施設で、新型コロナウイルスに感染した妊婦から合わせて52人の赤ちゃんが生まれていて、このうち1人の赤ちゃんが産後直後のPCR検査で陽性となったということです。このほかの51人の赤ちゃんは、いずれも陰性でした。陽性となった赤ちゃんは、健康状態には問題がなかったということで、母子感染だったとみられるということです。グループによりますと、海外の研究で、**新型コロナウイルスで母子感染したとみられるケースは数%程度の頻度で報告されている**ということで、国内では初めてだということです。

調査を行った森岡主任教授は「母親から赤ちゃんに感染する可能性は低く、症状も軽いため、過度に心配する必要はないが、日本でもゼロではないことが分かった。妊娠している女性は日頃から十分な感染対策をとってほしい」と話していました。

▼緊急事態宣言全面解除一菅首相「6月末までにワクチン1億回分確保」

日本医事新報(2021年3月22日)

<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=16810>



政府は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1都3県(東京、埼玉、千葉、神奈川)に発令していた**緊急事態宣言を3月21日で解除**した。1都3県を含めた宣言の全面解除に当たり、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部は3月18日の会合で、①飲食の感染対策、②変異株対策の強化、③モニタリング検査など感染拡大防止策の強化、④ワクチン接種の着実な推進、⑤医療提供体制の充実—の5つの取り組みを国・自治体で進める方針を決めた。18日の記者会見で菅義偉首相は、5つの取り組みのうち変異株対策について現在10%程度のスクリーニング検査の抽出割合を「40%程度」に引き上げるとし、ワクチンについては「6月末までに少なくとも1億回分が確保できる」との見通しを示した。

尾身会長「今までの延長線上にない対策を」

会見に同席した諮問委員会の尾身茂会長(地域医療機能推進機構理事長)は、今後の対策について「今までの延長線上にはない対策を打つこと」が重要との認識を示し、感染の再拡大が起きそうなときに急ブレーキをかけるように「サーキットブレーカー」の仕組みを導入すべきと指摘。「一番重要なことは、どのような状況になったらいわゆるハンマーを打つのか、サーキットブレーキについて国と自治体が共通の認識を持つことが必要だ。私たちも早速専門家と準備をしたい」と述べた。尾身会長はまた、「今、首都圏では感染のクラスターが多

様化している。モニタリング検査や深掘検査をしていくと、(飲食の場以外に)クラスターの元、感染源がある可能性がある。飲食だけではなく、新たな感染の源があればそれに対する対応を打つことも、まん防(=まん延防止等重点措置)の対策の一部に入れていく必要が出てくる可能性はある」と述べ、飲食のみに絞った感染対策ではリバウンドは防げないとの考えを示唆した。

【参考】厚生労働省 第78回社会保障審議会医療部会
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000210433_00016.html

ニュースピックアップ

▼日本は桁違い? ワクチン接種のアナフィラキシー

47news 2021年3月13日

<https://this.kiji.is/743076805039423488?c=39546741839462401>



新型コロナウイルス感染症を抑え込む“最終兵器”として期待が集まるワクチン。国内では2月、遺伝物質を利用した最新型の米製薬大手ファイザー社製ワクチンが製造販売の承認を受け、海外から続々と運び込まれている。政府は医療従事者への接種を開始し、6月までに計約1億回分(約5千万人分)を調達できるとの見通しを示す。

◎日本では、現段階でアナフィラキシーが多く起きているのではないかと、その意見に対して、状況を詳しく調べると必ずしもそうではないとの事です。また、ワクチンの改良なども世界中で進んでいるそうです。できるだけ最新で正しい情報を得られるように発信者だけではなく受け取る側も冷静な判断が必要になっています。

▼新型コロナワクチン 国内到着 医療従事者への先行接種開始へ

NHK NEWS WEB 2021年2月12日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210212/k10012862511000.html>



アメリカの製薬大手ファイザーが開発した新型コロナウイルスのワクチンが、12日午前、成田空港に到着しました。ワクチンは、有効性などが確認されれば14日にも国内で初めての新型コロナウイルスのワクチンとして正式に承認され、医療従事者への先行接種が始まります。

◎現時点では、私たちのワクチン接種の開始時期は未定ですが、事業が円滑に進んでいくことを期待します。

▼塗るだけでコロナ不活性化、長期間効果持続の液剤を紙卸会社が大量生産

yomiDr 2021年3月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210313-OYT1T50098/?catname=news-kaisetsu_news



環境素材の販売などを手掛ける兵庫県加古川市の紙卸会社「釜谷紙業」が、新型コロナウイルスを長期間、不活性化させる液剤の大量生産に乗り出している。国家規格に基づく第三者機関の試験では、塗った3か月後もウ

ウイルスが99.9%以上減少することを確認。同社は「東京五輪会場などでも感染防止に役立ててもらいたい」と利用に期待している。

◎「クリーンフィックス」というこの商品。一度塗ると3か月も効果が持続するという夢のような製品ですが、問題はその値段。市販価格で1リットル入り税抜き3万5000円とのことですが、果たして効果を信じて購入すべきかどうか。悩むところです。

▼コロナ感染、世界で1億2千万人超減少から再び増加

産経ニュース 2021年3月16日

<https://www.sankei.com/life/news/210316/lif2103160004-n1.html>

米ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が15日、世界全体で1億2000万人を超えた。1月中旬以降に減少が続いていた1週間当たりの新規感染者数は、2月下旬に下げ止まってから再び増加に転じており、世界保健機関（WHO）は警戒継続を呼び掛けている。

◎WHOの集計では、1週間当たりの新規感染者数は1月10日付で過去最多の495万人に上り、その後は6週連続で減少、2月21日付で245万人にまで減ってから増加に転じ、直近では300万人を超える見込みということです。変異株の流行に加え、各国で外出制限などの規制措置が段階的に解除された影響が出たとみられています。収束がなかなか見えないですね。

▼給食の皿うどん 麺揚げすぎで児童ら7人の歯が欠ける 埼玉 朝霞

NHK NEWS WEB 2021年3月13日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210313/k10012913091000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_045

埼玉県朝霞市の小学校で、給食の皿うどんの麺を食べた児童と教諭合わせて7人が歯が欠けるなどの被害が出ました。市は調理の際に揚げすぎて麺が固くなったことが原因だとしています。

◎歯が欠けた児童の他に、口の中を傷つけてしまった児童もいたようです。原因は中華麺とはいえ、欠けてしまった歯を元に戻す事はできません。業者は注意に注意を重ねなければなりませんし、欠けてしまった部分が僅かで抜髄しなくてもいいことを願っています。

▼国産ワクチン年内供給困難に 塩野義、大規模治験難しく

産経ニュース 2021年3月16日

<https://www.sankei.com/economy/news/210316/ecn2103160019-n1.html>

塩野義製薬が開発を進める新型コロナウイルスワクチンの年内供給が、困難な見通しであることが16日、分かった。先行するワクチンの実用化が進み、偽薬を用いた数万人規模の最終段階の治験（臨床試験）を年内に実施することが難しい状況となっているため。

◎国産ワクチンで現在、人に接種する治験に入っているのは、第2/3相試験中の創薬ベンチャーの「アンジェス」と、第1/2相試験中の塩野義で、第一三共とKMバイオロジクスが今月中に治験に入る予定となっています。

国産ワクチンに大きな期待を抱いているのは私だけでしょうか、続報に期待です。

▼ワクチン接種者はマスクなしで面会

OK 米当局が発表

産経ニュース 2021年3月9日

<https://www.sankei.com/life/news/210309/lif2103090006-n1.html>

米疾病対策センター（CDC）は8日、新型コロナウイルスのワクチンの接種を完了した人に向けた手引きを発表し、接種完了者同士が屋内で集まる場合、マスクを着用したり、ソーシャルディスタンス（社会的距離）を取る必要はないとした。発表によると、制限が緩和されるのは、予防効果が十分に現れるとされる接種完了後2週間以上が経過した人で、2回の接種が必要な米ファイザー製、米モデルナ製のワクチン接種者は2回目の接種から計算する。

◎この記事では、アメリカでは面会する相手が非接種者でも、感染した場合の重症化リスクが低い場合にはマスク着用は不要とし、接種完了者が感染者と接触しても無症状なら検査を受ける必要はないとしたそうです。ちなみに、日本では、ワクチン接種後でもマスク含めた、いわゆる「with コロナ」を意識した対応をするように求めています。元の生活に戻れるのはいつの日なのでしょう。

▼7回接種の注射器、政府調達せず 河野氏が表明

産経ニュース 2021年3月11日

<https://www.sankei.com/politics/news/210311/plt210311036-n1.html>

河野太郎ワクチン担当相は11日、米ファイザー製の新型コロナウイルスワクチン1瓶当たり7回接種が可能になるインスリン用注射器について、政府としてはワクチン接種用に調達しない考えを示した。インスリン投与が必要な糖尿病患者向けの注射器不足を招かないため。河野氏は視察先の東京都内の医療機関で記者団に対し、インスリン用注射器のワクチン接種用の使用について「政府としては推奨はしない」と述べた。注射器に余剰がある場合は「あとは医療機関の判断ということにしたい」と述べた。

◎この注射器が糖尿病患者の手に渡らないことがあってはなりません、製造メーカーにフル稼働の増産を頼むことは出来なかったのでしょうか。

▼歯周病 かみしめでリスク高まる 岡山大の江国准教授ら突き止める

山陽新聞 2021年3月3日

<https://www.sanyonews.jp/article/1105381/>

岡山大学院医歯薬学総合研究科の江国大輔准教授（予防歯科学）らのグループは、歯をかみしめると、歯周病の進行リスクが高まることを突き止めた。かみしめることで歯茎などに過度な力がかかり、病状に悪影響を与えているとみている。

◎歯周病の患者で、かみしめる際に使う筋肉の活動が活発な人は、そうでない人と比べ、進行リスクが4.9倍高かったそうです。歯をかみしめないように意識して生活すると歯周病の進行を食い止めることにつながるそうです。今後の研究に注目したいと思います。

▼iPSで網膜治療 新計画を実施 神戸の病院

産経ニュース 2021年3月11日

<https://www.sankei.com/life/news/210311/lif2103110033-n1.html>

神戸市立神戸アイセンター病院は11日、人工多能性幹細胞（iPS細胞）から作った網膜の細胞を目の難病患者など計50人に移植する新たな臨床研究計画で、最初の手術を今月上旬に実施し成功したと発表した。移植手術をしたのは網膜に栄養を与える網膜色素上皮に異常が生じ、視力が衰えた網膜色素変性症の患者で、関西に住む40歳代の男性。色素上皮細胞を移植した。視力や視野の改善効果などを1年間観察する。

◎このところコロナウイルス関係のニュースばかりでしたが、明るい話題ですね。再生医療のジャンルは是非とも日本が世界をリードしてほしいものです。

▼5割が赤字 長崎県内開業医 コロナの影響調査

長崎新聞 2021年3月5日

<https://this.kiji.is/740370246337593344?c=39546741839462401>

長崎県保険医協会（本田孝也会長）が新型コロナウイルス感染拡大の影響に関して県内の開業医に実施したア

ンケートで、昨年2月以降、約5割が赤字または大幅赤字で厳しい経営状況にあると回答した。

◎長崎県内の開業医に実施したアンケートによると、約5割が公的な補助金がなければ経営維持できないと答え、うち約半数は半年から1年程度しか持ちこたえられないと窮状を訴えているそうです。本田会長は、「医療の質担保しながらどうやって経営を維持するか、減収分を行政で補填し診療に専念できる体制をとってもらいたい」と述べたそうです。

▼今季のインフルエンザ 全国の報告 された患者数 大幅減少

NHK NEWS WEB 2021年2月19日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210219/k10012877221000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_166

今シーズンのインフルエンザについて、今月14日までの1週間に報告された患者の数は全国で56人で、例年に比べ感染者が大幅に少ない状況が続いています。国立感染症研究所などによりますと、今月14日までの1週間に全国およそ5000か所の医療機関から報告があったインフルエンザの患者数は、前の週と比べて42人少ない56人でした。

◎新型コロナの感染予防がインフルエンザの感染予防につながっているようです。他にもマスクをすることで口臭などが気になり、口腔ケアが注目されています。全身の健康について歯科口腔領域の重要性が認識されてきていると感じます。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第 18 回～ ハガイイってなんだ？

二葉里志さんのクリニックに 80 歳代の常連女性患者、B さんが来院しました。B さんは世間話が好きで、ユニットに座るなりマシンガントークを始めます。「先生～、聞いてくださいな。あたしハガイイったらありやしませんのよ～！」二葉さんは(何を今さら、イイ歯の自慢かい?)と思いながらも、ピンとききました！(B さんはメンテナンスにも真面目だし、「8020 の表彰」に推薦しよう)。早速、推薦状を探しに……。その後の話がかみ合わなかったのは言うまでもありません(笑)。

「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編では、「ハグイー」=「はがゆい」と記載されています。B さんは「歯がイイ」ではなく、「歯がゆい」と言いたかったのですね。こう発音するようになったのは、「ハグイイ」→「ハガイイ」→「ハグイー」→「ハグイー」と音が変わっていったのでしょうか。因みに「痒い」を「カイイ」と発音するのは、「カイイノ」のギャグで知られる寛平ちゃんのみならず全国で見られます。

「歯がゆい」の語源を調べてみると、歯が痒くなっても搔けそうにないことから、「もどかしい」、「思うようにならない」の意味で使うようになったそうです。似た言葉に「隔靴搔痒(かつかそうよう)」がありますが、こちらは靴で隔てられて搔けないことに由来します。「痒い所に手が届く」の言葉もあるように、昔も今も人は痒みとは闘っていたんですね。アトピー性皮膚炎の筆者には分かります(笑)。

なお、「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編には「ハグイー」の隣というか同音異義語として、「ハグイー」=「美しい」との記載がありましたが、筆者はその用法を知りません。似た語感、意味の「ハクイ」とは違うようです。辞書によると、「ハクイ」=「良い、素晴らしい、といった意味の俗な表現。テキ屋の隠語などに由来するとされ、不良らの使う若者言葉として広まったが、後に廃れた」とありました。最近聞かなくなったと思ったら、テキ屋用語だったんですね。

歯科医師である我々なら歯にまつわる言葉は知っておきたいものですね。

※8020 の表彰＝広島市 8020 運動・歯周病予防推進協議会(広島市歯科医師会、安佐歯科医師会、佐伯歯科医師会、安芸歯科医師会、広島市)の行う表彰事業(広島市在住の 80 歳以上で、ご自分の歯が 20 本以上ある方が対象)

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

4月7日放送分

「ママと赤ちゃんのお口の健康」

広島市歯科医師会 石田 一輝氏

妊娠と出産は人生の一大イベントです。しかし、喜びとともに不安になることも多いものです。今回は、ママと赤ちゃんのお口の健康のためにできることを広島市歯科医師会の歯科医師、石田一輝さんが話します。

4月21日放送分

「神経を取った歯はどうなるの」

広島市歯科医師会 中川 誠氏

とても硬い歯の中には神経や血管が通っている歯髄と呼ばれる管があります。大きな虫歯ができて痛みが出てきた場合には、神経を取る治療があります。神経を取った後の治療や神経の役割、お手入れの仕方などを、広島市歯科医師会の歯科医師、中川誠さんが説明します。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

2月3日放送分

「永久歯が生えてきたら」

広島市歯科医師会 白神葉子氏

<https://youtu.be/aN9vLR7h8LQ>



2月17日放送分

「顎関節症について」

広島市歯科医師会 水内裕之氏

<https://youtu.be/-4pHsCZt4KY>



おかげさまで再生回数 35,000 回突破！！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2021年3月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2021年3月1日～3月31日)

世界・日本での経過	2021年	広島市歯科医師会での対応
世界のコロナ感染者 7週間ぶりに増加	3月1日	
英 アストラゼネカ製ワクチン 高齢者に高い効果発揮との分析結果発表	3月2日	
1都3県 ”緊急事態宣言”の2週間延長決定	3月5日	
仏・パリ 人が集まる場所での飲酒禁止に	3月7日	
テルモ ”ワクチン7回接種”注射器を開発	3月9日	
変異株 空港検疫 74人確認で国内 345人	3月10日	
第一三共 アストラゼネカ製ワクチンの国内製剤化開始	3月12日	
血栓リスク増加の証拠はない アストラゼネカ製ワクチン検証	3月15日	
コロナ生活困窮世帯 子供1人5万円給付	3月16日	
CDC 企業向けワクチン接種ガイドライン発表	3月17日	
仏 PCR 検査をすり抜ける可能性がある変異ウイルスを発見	3月18日	
仏 パリなどで3度目の外出制限始まる	3月21日	
日本のワクチンメーカーKM バイオロジクスワクチン臨床試験開始	3月22日	
ファイザー コロナ経口治療薬の開発本格化	3月24日	リビングひろしまより 取材
感染第2波のインドで二重変異ウイルス発見	3月25日	
妊婦から赤ちゃんに”抗体”確認 米研究結果	3月29日	
抗体検査 もっとも保有率が多かった東京で1.35%	3月30日	
米ジョンソン&ジョンソンが製造を委託している工場で製造ミスがあり約1,500万回分のワクチンが使用不可に	3月31日	
国内累計感染者 47万5880人(検疫・クルーズ船含) 世界累計感染者 1億2885万1200人	3月31日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体

※以前のは前号参照

年度当初より、コロナ対応に追われた激動の令和 2 年度が終了しました。

長年続いてきたおくちの健康展、厚生部企画の家族会、クリスマスパーティーなど多くの事業を実施することができなかったのは残念なことでした。そんな中、コロナ対応をはじめ、十分ではありませんでしたが、大きな事故もなく年度を終えることができたことに安堵しているのも事実です。

それぞれの職務において、会員のために献身的に働いてくれた理事役員はじめ委員会委員の皆様に感謝したいと思います。また、学校健診のダブルミラー化や、会員の先生方への医療資材の仕分け、配布などで激増する業務を的確にこなしていただいた事務局の皆さんにも心から感謝します。そしてなによりも、コロナによる受診抑制の中、本会事業にご協力いただいた会員の先生方に深甚なる感謝の意を表したいと思います。

さて、先日の 3 月理事会において、令和 3 年度事業計画、事業予算が承認されました。6 月 26 日開催予定の本会総会において報告させていただきます。

令和 3 年度も、コロナ対策には万全の態勢で臨みたいと考えています。昨年度に引き続き、感染症予防対策費として 500 万円

計上し、今後の感染再拡大による医療資材の不足等にリアルタイムに対応できるよう、医療資材の購入・備蓄などを進めていく予定にしています。また、広島市歯科医師会だより号外や、先日開設した広島市歯科医師会 LINE 公式アカウントなどを通じてリアルタイムの情報発信も行っています。

本年度の重点項目として考えているものの一つとして、学術研修や会員の先生方への情報提供における IT の活用があります。今回のコロナ禍はテレワークをはじめ、さまざまな社会活動の変革を結果として後押ししましたが、「コロナ対応のため」ではなく、社会の流れにおける当然の対応として、この IT の活用を考えたいと思っています。

さらには、今回の事業計画に明確に記載はしませんでした。DX (デジタルトランスフォーメーション)、すなわちデジタル技術を活用した業務の変革を通じて、事務局運営の効率化を図っていくことも進めて参ります。このことは会員サービスの向上にも繋がる大切なことだと思っています。本会は、私の会長就任時に導入した、サイボウズというグループウェアが機能し、事務連絡や資料保存、検索の効率化が飛躍的に上昇しました。今後は、さらなる

会長コラム (第 19 回)

柔しく剛く

令和 3 年度事業計画について
熊谷 宏

効率化をすすめ、事務局負担の軽減に努めてまいりたいと思っています。

昨年実施できなかったおくちの健康展については、6 月の歯の衛生週間における開催は難しいと判断し、8020 運動の一環として 11 月 8 日に設定された「いい歯の日」にちなんで、11 月の開催にむけて検討中です。

最後に、広島市歯科医師会 LINE 公式アカウントについてです。会員の先生方によりリアルでアップデートな情報をきめ細かく配信したとの思いから、広島市歯科医師会 LINE 公式アカウントを取得し、2 月 24 日に配信を始めました。登録方法は、広島市歯科医師会だよりの最終ページに記載していますので、是非ご覧ください。ただきふるってご登録をお願いします。

令和 3 年度も、会員の先生方のために、執行部一丸となって頑張りたいと思いますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

3月定例理事会報告

「部外報告」

- 2月27日 歯科医師国保組合会・互助会総代会
3月1日 第40回地域医療支援病院運営委員会
3月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
3月4日 会員面談
3月5日 滅菌事業入札
3月6日 (県歯)第148回臨時時代議員会
3月8日 会員面談
3月9日 滅菌事業開札
" 広島市節目年齢歯科健診受診率向上に向けた意見交換会
3月11日 新規個別指導に係る立会
3月12日 【書面議決】(日歯)第194回臨時時代議員会
3月13日 【規模縮小】広島デンタルアカデミー専門学校卒業式祝電
3月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会休日歯科救急医療研修会
" 広島県国保連合会歯科再審査部会
3月19日 佐伯歯科医師会との協議
3月19-22日 広島県国保連合会歯科審査部会
3月19-25日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議25日)
3月22日 広島市医療安全推進協議会
3月24日 広島リビング新聞社取材
【書面会議】令和2年度第2回広島圏地域医療構想調整会議

(連盟関係)

「総務関係」

- 2月5日 【Web会議】三役会
2月26日 決算見込報告
3月5日 【中止】広島市歯科医師会第1回懲戒委員会
3月22日 三役会
3月24日 定例理事会

(慶弔関係)

- 2月20日 南区支部 藪本守先生ご逝去

(入会退会関係)

- 2月28日 中区支部 山村辰二先生任意退会
3月15日 入会前面談(有田竜二先生)
3月31日 南区支部 楠田雄一先生任意退会

(県歯理事会関係)

- 3月4日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 3月2日 休日診療レセプト点検
3月9日 定例委員会
3月11日 (県歯)保険部常任委員会
3月15日 入会前面談(有田竜二先生)
3月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会休日歯科救急医療研修会
3月22日 第2回広島市医療安全推進協議会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 3月12日 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 3月9日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 3月17日 (県)地域保健部、学校保健部、介護・福祉医療部常任委員会
3月19日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

- 3月2日 (南区地対協)令和2年度南区地域医療医歯薬連携研修会
3月6日 (県歯)第148回臨時時代議員会
3月12日 (南区地対協)第2回広島市南区在宅医療・介護連携推進委員会
3月15日 令和2年度広島市学校保健会第3回理事会
・令和3年度定期健康診断について
・令和3年度定期健康診断に係る歯鏡等の滅菌配送委託事業について
・令和3年度よい歯の表彰について

<地域保健> (若林理事)

- 3月2日 (県)節目年齢歯科健診アンケート調査委員会
3月9日 節目年齢歯科健診受診率向上に向けた意見交換会
3月10日 (県)地域保健部小委員会
3月11日 介護認定審査会研修会
3月12日 広島市障害者施策推進協議会(令和2年度第3回)
3月14日 休診歯科衛生士会打合せ(前期)
3月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会休日歯科救急医療研修会
・おくちの健康展代替動画について
・リーフレット作成について
・令和3年度歯科保健事業への協力歯科医師の推薦について
・休診4地区輪番表について
福祉対策協議会実績状況

<地域連携> (藤田理事)

- 3月4日 令和2年度第2回広島市地域包括支援センター運営協議会
" 令和2年度第2回広島市地域密着型サービス運営懇談会
3月8日 令和2年度第1回広島市在宅医療・介護連携推進委員会
" 第4回「在宅医療及び在宅医療・介護連携の推進方策の検討」委員会
3月22日 令和2年度第2回広島市西区在宅医療・介護連携推進委員会
3月24日 広島市西区地域保健対策協議会常任理事会・理事会合同会

(5) 広報部 (水内理事)

- 2月27日 歯科医師国保組合法会・互助会総代会
- 3月2日 【Web会議】校正委員会(だより3月号)
- 3月4日 【Web会議】校正委員会
(LINE公式アカウント)
- 3月6日 (県歯)第148回臨時代議員会
- 3月9日 【Web会議】校正委員会(太田川)
- 3月11日 FMちゅーピー収録
- 3月18日 【Web会議】情報調査委員会

FMちゅーピー (新聞掲載)

- 4月7日 「ママと赤ちゃんの歯の健康のために」
広島市歯科医師会理事
石田 一輝氏
- 4月21日 「神経を取った歯」
広島市歯科医師会理事
中川 誠氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
- 一般サイト 訪問者 3,126 (累計 178,991)
- ページビュー 36,250 (累計 873,825)
- 会員サイト 訪問者 162 (累計 31,817)
- ページビュー 73 (累計 230,731)
- 広報部 … Talking Heads<最新情報>
- 掲載件数 74件(2/21~3/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

- 3月15日 【書面会議】資料発送

(9) 各部事業計画について

令和3年度各部事業計画案

(10) 歯科医療安全相談

- 3月1日 相談 治療内容について(77歳女性)
- 3月22日 報告 患者の対応について
(会員からの情報提供)

「協議事項」

- (1) 会費について(5名)
減額について5名承認
- (2) 入会について(2名)
中区支部の有田竜二氏の入会について承認、
中区支部1名継続審議中。
- (3) 広島市歯科医師会カーブ観戦について
日程報告、継続審議
- (4) B型肝炎ワクチン接種事業について
会場・接種方法について協議・継続審議
- (5) 広島YMCA講師派遣について
前任者瓜生賢氏に代わり高橋由佳氏を推薦
- (6) 令和3年度事業計画案・予算案について
協議・確認・決定
- (7) 学校歯科医について
協議・継続審議
- (8) 太田川発行部数について
確認・決定
- (9) その他

「その他」

特になし

広島市歯科医師会だより第156-167号(R2.4月-R3.3月) 総目次

第156号 (R2.4.13発行)

「新型コロナウイルスに負けるものか！ 自分が感染していると思って行動を 考えてみませんか？」	1P
お知らせ	
「令和2年度 第1回 学術講演会」 延期について	1P
「第36回おくちの健康展」延期について	1P
広島市松井一實市長に要望書提出	2P
各部委員自己紹介(厚生部) (土屋崇文委員長・小島将督副委員長・横村康彦委員)	3P
会長コラム『柔しく剛く』 —令和2年度事業計画とその実施について—	6P
各部からの報告 広島市医療安全推進協議会より—こんな医療トラブ ルが起っています—(総務部)	7P

救急蘇生委員会(学術部)	8P
今月の知っておきたいこと(広報部)	9P
FMちゅーピー(広報部)	13P
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	13P
3月定例理事会報告	14P

第157号 (R2.5.14発行)

会長コラム『柔しく剛く』 —新型コロナウイルス感染症との闘い—	1P
緊急事態宣言延長へ	2P
行事報告	
保険講習会 DVD 上映	3P
第1回 支部長・副支部長会議 「皆さんの診療室ではどのようにされていますか？」 新型コロナ対策」	5P
各部委員自己紹介(総務部)	

(大井手和久委員長・白神葉子副委員長・ 豊田眞仁委員)	8P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	11P
妊婦歯科健康診査料及び節日年齢歯科健康診査料のお知らせ(地域歯科保健部)	12P
今月の知っておきたいこと(広報部)	13P
FM ちゅーピー(広報部)	15P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	16P
会員ひろば	
新入会員紹介	17P
職員挨拶	17P
4月定例理事会報告	18P

第158号 (R2.6.15発行)

新型コロナウイルス感染症対策 ～これまで、そしてこれから～	1P
本会のこれまでの取り組み	3P
行事報告	
令和2年度 第1回 四者協議会	5P
中国醸造 白井浩一郎代表取締役社長に感謝状手交	6P
一般社団法人広島市歯科医師会 会計監査	7P
令和2年度広島県歯科医師会新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染対策検討会議	7P
各部委員自己紹介(学術部)(大塚道征委員長・小早川尚史副委員長・山崎利恵委員・江盛顕司委員)	8P
会長コラム『柔しく剛く』 ー新型コロナウイルスとの闘いは続くー	12P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	13P
今月の知っておきたいこと(広報部)	14P
FM ちゅーピー(広報部)	16P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	17P
5月定例理事会報告	18P

第159号 (R2.7.9発行)

おしらせ(重要)

本年度定期健康診断(学校歯科健診、9月中旬より開始予定)での感染症対策と今後の学校保健に係る大まかな予定について	1P
アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業が始まります。	3P
令和2年度乳幼児健康診査(1歳6か月児健診、3歳児健診)の歯科医師会会員医療機関における個別健康診査(特例)の実施について	3P
行事報告	
「保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議」日歯広報掲載	5P
高邑勉元衆議院議員よりGoogle寄贈	5P
第4回 支部長・副支部長会議	6P
おくちの健康展代替案検討会議	7P
一般社団法人広島市歯科医師会第113回 定時総会	7P
支部だより	
中区支部	10P
各部委員自己紹介(地域歯科保健部)(前田羊一委員長・濱岡代枝副委員長・森川英彦副委員長・中川誠副委員長)	12P
会長コラム『柔しく剛く』 ー新型コロナウイルス感染症を踏まえた 本会事業等についてー	16P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	17P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	18P
「矯正歯科無料相談会」及び「2歳児フッ素塗布事業」再開のお知らせ(地域歯科保健部)	19P
今月の知っておきたいこと(広報部)	19P
FM ちゅーピー(広報部)	23P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	23P
会員ひろば	
新入会員紹介	24P
6月定例理事会報告	25P

第160号 (R2.8.12発行)

歯科診療所における口腔外バキューム整備促進事業	1P
行事報告	
第2回 おくちの健康展代替案検討会議	2P

原爆死没者慰霊祭	2P
各部委員自己紹介(地域歯科保健部)(岡田浩幸委員・豊田育星委員・平井由美委員・松村英朗委員)	3P
会長コラム『柔しく剛く』	
一広島市による「口腔外バキューム整備促進事業」について	7P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	8P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	9P
今月の知っておきたいこと(広報部)	10P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	12P
FM ちゅーピー(広報部)	13P
7月定例理事会報告	13P

第 161 号 (R2.9.11 発行)

行事報告	
令和 2 年度 広島市歯科医師会保険講習会	1P
Campus Medico(高田社長)・二川教授感謝状手交	1P
第 3 回 支部長・副支部長会議	2P
広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会	3P
広島市歯科医療福祉対策協議会 総会	4P
支部だより	
東区支部	4P
西区支部	5P
各部委員自己紹介(地域歯科保健部)	
(石田一輝委員・尾山奈々子委員・野坂覚委員)	6P
会長コラム『柔しく剛く』	
一故 土江健也先生を偲んで	9P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	10P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	11P
ゆ〜ちゅ〜ぶはじめました(広報部)	12P
今月の知っておきたいこと(広報部)	13P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	16P
FM ちゅーピー(広報部)	17P
会員ひろば	
新入会員紹介	17P

8月定例理事会報告	17P
-----------	-----

第 162 号 (R2.10.9 発行)

行事報告	
令和 2 年度 第 2 回 四者協議会	1P
令和 2 年度 新任学校歯科嘱託医研修会	1P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	2P
RCCラジオおひるーなプラス！「広島家族。元氣じゃけんいきいきプロジェクト」(地域歯科保健部)	3P
FM ちゅーピー(広報部)	3P
ゆ〜ちゅ〜ぶはじめました(広報部)	4P
今月の知っておきたいこと(広報部)	5P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	7P

各部委員自己紹介(広報部)(田中尊治委員長・福島整委員・三保浩一郎副委員長)	8P
会員ひろば	
新入会員紹介	11P
会長コラム『柔しく剛く』	
一広島市による「広島は決して屈しない！プロジェクト」について	12P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	13P
9月定例理事会報告	14P

第 163 号 (R2.11.13 発行)

行事報告	
広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い	1P
第 4 回 支部長・副支部長会議	2P
支部だより	
中区支部	2P
東区支部	3P
南区支部	5P
西区支部	5P
各部委員自己紹介(広報部)(小林裕子委員・鈴木良貴委員・山田英太郎委員)	6P
会長コラム『柔しく剛く』	
一コロナ禍と親睦事業	10P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	11P
各部からの報告	

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	12P
ゆ〜ちゅ〜ぶはじめました(広報部)	13P
今月の知っておきたいこと(広報部)	14P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	16P
FM ちゅーピー(広報部)	17P
10月定例理事会報告	17P

第 164 号 (R2.12.10 発行)

新型コロナウイルス感染対策啓発ビデオ	
「不安な？歯医者」作成、YouTube 上で公開	1P
行事報告	
第 1 回 学術講演会	2P
令和 2 年度「8020」いい歯の表彰式ならびに「グランドビューティフル歯ッション賞」認定証授与式	3P
Web 公開講座「子どもの食べる機能の発達を支援するために」	4P
令和 2 年度 広島市学校保健会 第 2 回 理事会及び表彰審査委員会	5P
支部だより	
中区支部	6P
東区支部	6P
西区支部	7P
各部委員自己紹介(厚生部・地域歯科保健部)	
(高橋由佳委員・岡崎文彦委員・光山素夫委員)	8P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	11P
今月の知っておきたいこと(広報部)	12P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	15P
広報部からの豆情報(広報部)	16P
FM ちゅーピー(広報部)	17P
チャンネル登録をお願いします！(広報部)	17P
会長コラム『柔しく剛く』	
ー不安な？歯医者ー	18P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	19P
会員ひろば	
新入会員紹介	20P
11 月定例理事会報告	21P

第 165 号 (R3.1.21 発行)

「広島市の歯科診療所における口腔外バキューム整備促進事業」について	1P
行事報告	
故 土江健也先生、叙位・叙勲の荣誉に浴さる	1P
第 5 回 支部長・副支部長会議	2P
退任学校歯科医、保育園囑託歯科医、学校歯科囑託医への感謝状贈呈	2P
歯科保健資料寄贈に対する感謝状贈呈式	3P
支部だより	
中区支部	3P
東区支部	4P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	5P
学校歯科健診での新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査結果(地域歯科保健部)	6P
今月の知っておきたいこと(広報部)	7P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	10P
FM ちゅーピー(広報部)	11P
会長コラム『柔しく剛く』	
ー新年互礼会についてー	12P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	13P
12 月定例理事会報告	14P

第 166 号 (R3.2.15 発行)

医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業の実績報告の手続きについて	1P
行事報告	
令和 2 年度 広島市難病対策地域協議会	1P
令和 2 年度 よい歯の健康大賞・よい歯の賞	2P
熊谷宏氏に当選証書	2P
支部だより	
南区支部	3P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	4P
学校管理下の災害における「歯牙の欠損見舞金」の支給について(地域歯科保健部)	5P
第 2 回新型コロナウイルス感染症拡大下における郡市地区歯科医師会学校歯科保健の現状把握調	

査(地域歯科保健部)	6P
今月の知っておきたいこと(広報部)	7P
新型コロナウイルス ワクチン特集(広報部)	9P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	12P
FM ちゅーピー(広報部)	13P
会長コラム『柔しく剛く』	
—公衆衛生関連事業について—	14P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの	
取り組み	15P
1 月定例理事会報告	16P
新年特別号 クロスワード 解答	18P
LINE 公式アカウント 友達募集	19P

第 167 号 (R3.3.11 発行)

【告知】令和 3 年度第 1 回広島市歯科医師会学術講演会 1P

行事報告

第 6 回 支部長・副支部長会議	2P
広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会	2P
広島市歯科医療福祉対策協議会 総会	4P

支部だより	
中区支部	4P
東区支部	5P
西区支部	6P
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会より—こんな医療トラブルが起っています—(総務部)	7P
学校歯科医、学校歯科嘱託医の法的立場について(地域歯科保健部)	8P
学校歯科健康診断における感染症対策の指針改訂について(地域歯科保健部)	8P
後期高齢者歯科健診が高齢者いきいき活動ポイント事業の対象となります。(地域歯科保健部)	9P
今月の知っておきたいこと(広報部)	10P
誰もが納得！ I L ♥ v e 広島弁じゃけえ。(広報部)	13P
FM ちゅーピー(広報部)	14P
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの	
取り組み	15P
会長コラム『柔しく剛く』—感謝—	16P
2 月定例理事会報告	17P
LINE 公式アカウント 友達募集	19P

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。

登録完了後に会員名をトークで送信してください。

(管理者にはニックネームしかわからないため。管理者以外に会員情報が流れることはありません。)

友だち登録方法

QRコードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から「QRコード」を選択。
右のQRコードを読み込んで登録。



LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzkc」を検索して登録。

今までの配信内容

- | | |
|---------|---|
| 2月24日配信 | 25万円補助金関連提出期限
オンライン資格確認導入に向けて |
| 3月5日配信 | 6歳未満の乳幼児に対する55点の加算について
金パラの価格改定について |
| 3月12日配信 | 口腔外バキューム整備促進事業の実績報告・請求書提出期限
ウイルス感染予防のための歯みがきについて |
| 3月18日配信 | 第114回歯科医師国家試験合格発表について(学校別) |
| 3月19日配信 | 介護保険改定(居宅療養管理指導 文書について) |
| 3月25日配信 | オンライン資格確認(申込期限)について |